

# 学生に下水道の魅力を伝えるGKP未来会



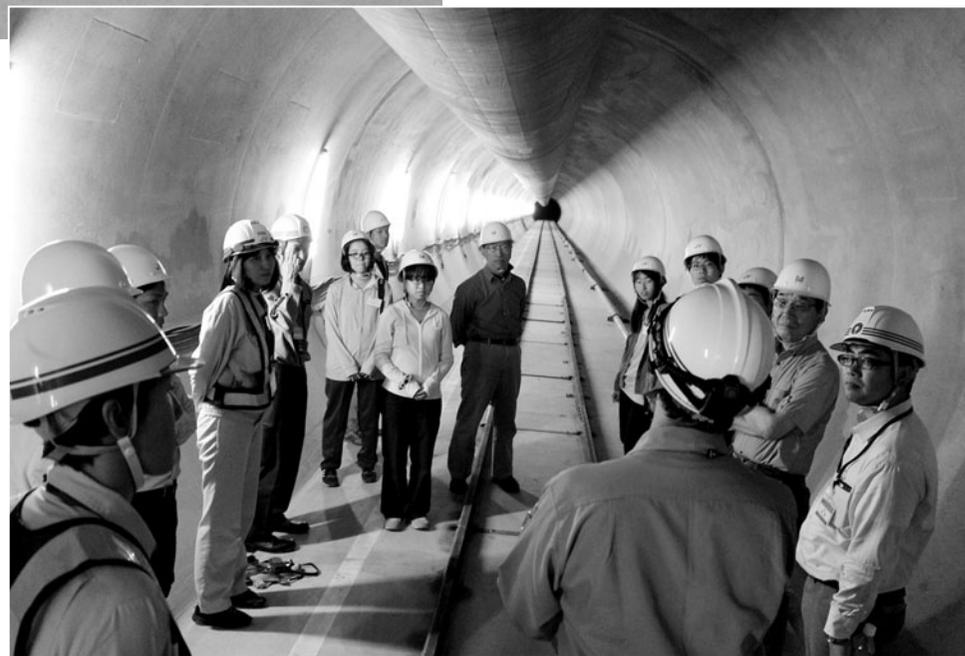
1 DAYインターンシップの参加者で記念撮影



GKP未来会のメンバーに質問する木更津工業高等専門学校の学生



下水道展の1 DAYインターンシップで企業ブースを見学する学生ら



神奈川県立大師高校で行ったイベントでは雨水貯留管を見学

国土交通省下水道部や民間企業の若手・中職員などで構成される『下水道を未来につなげる会（GKP未来会）』は高校生や大学生、高専生などに、下水道の魅力や仕事の内容を伝え、下水道の担い手の確保のために活動を行っている。

そのGKP未来会のイベントが、下水道分野へ就職する決め手となったと話するのは今年の春に下水道関連の会社に就職する木更津工業高等専門学校5年生の吉久華野さん。

吉久さんが所属する研究室では開発途上国向けに下水処理装置の開発を行っているため、元々下水道界に興味はあったものの、就職活動をする時は業界についてほとんど知識が無く、情報収集が必要だった。そのような時、一昨年の11月に同学校で行われたGKP未来会のイベントに参加した。イベントではGKP未来会のメンバーが下水道について見学する学生ら



木更津高専の吉久さん

来は「GKP未来会に入り、下水道界について多くの人にPRし、GKP未来会への恩返しと下水道界の更なる発展に繋がるように貢献したいです」と今後の目標を教えた。

## 自治体や企業の仕事を紹介 就活で積極的に活用を!

理場のフロア図を示し、それぞれの企業がどのように関わっているのか詳しく説明された。吉久さんはイベントについて「下水道に関わる企業が実際にどのような仕事をしているのか聞けたことが就職活動で一番役立ちました。内情について知ることができ、就職先の選択につながりました」と当時を振り返った。将

さらに、「興味のある企業の社員と直接話し、企業がどのような人材を求めているのか調べるところから就職活動を始めました。学生生活の中で社会人の方とお話しする機会はほとんど無いので、これから就職活動をする方は、GKP未来会や就職イベントのよう直接企業の人と話せる機会を積極的に活用して欲しいです」と話した。GKP未来会は今年1月にも同校でイベントを開き、41人の学生が参加した。下水道関連企業・団体が技術・機器などを紹介する下水道展では、1 DAYインターンシップを実施しグループワークを通して下水道界の内容を多くの学生に伝えている。東京で開催される今年度の下水道展（8月1日〜4日）でも1 DAYインターンシップの実施を予定している。活動内容は、GKP未来会のホームページやフェイスブックで紹介されている。